

平成30年度第1回多賀城市子ども・子育て会議録(要約版)

□日 時 平成30年12月5日(水) 午後2時から4時まで

□場 所 多賀城市役所地下1階 B101会議室

□出席者

委員：増子正会長、磯部裕子副会長、山本宣恵委員、服部典子委員、村上秀典委員、
中鉢義徳委員、長沼宗則委員、佐々木克敬委員、高野行弘委員、小島史子委員、
事務局：片山保健福祉部長、木村保健福祉部次長兼社会福祉課長、佐藤子育て支援課長、
阿部保育課長、小林健康課長、丸田学校教育課長、中野生涯学習課長、
小林保育課長補佐、石田保育課主幹、針生子育て支援課長補佐、
菊地子育て支援課主幹、千葉子育て支援課副主幹、三関子育て支援課主事
欠席委員：黒川恵子委員、高橋敬委員、伊藤光子委員

□次 第

- 0 委嘱状交付
- 1 開会
- 2 挨拶
- 3 委員紹介
- 4 議事
- 5 その他
- 6 閉会挨拶

0 委嘱状交付

事務局：開会前に、委員の改選がございましたので、委嘱状の交付を行います。名前を呼ばれた委員は、その場にご起立いただき、委嘱状をお受け取りください。
(委嘱状交付)

1 開会

事務局：それでは、ただ今から、平成30年度第1回多賀城市子ども・子育て会議を始めさせていただきます。

2 挨拶

事務局：まず初めに、多賀城市子ども・子育て会議の増子会長よりご挨拶を申し上げます。
会 長：平成30年度第1回多賀城市子ども・子育て会議ということで、お忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。昨日、内閣府の子ども・子育て会議を見ておまして、各市町村から、色々な要望が出されていて、いったいどうい

要望が市町村から出されているのかなということは、すごく勉強になりました。多賀城市の子ども・子育て会議ですけれども、今、子育て支援というのが一番大事な施策なのではないかと私も思っているところで、多賀城市は人口移動率が県内1位ということで、人の出入りが結構あるということでございまして、逆に考えると、多賀城市で良い子育て支援の策を考えていただいて、それをブレンドしていくことで、もしかすると、多賀城市に住んでいる子育てをしている方が、転勤して多賀城から出ていかれて、「いや、多賀城の時にはすごく子育てがしやすかったな」と、そういうのが色々な中で話題になって、「多賀城に転勤になった」と言われたときに、「大丈夫だよ、多賀城に行ったらすごく子育てしやすいから」というようなことが聞かれて、できれば多賀城市に転勤になりたいという方が、どんどん増えていくような、そんな子育てがしやすい多賀城市を作っていくということも、人口移動率が1位ということも考えると、逆に良い1つのPRになるのかなと思います。今日の限られた時間でございますけれども、報告事項も盛りだくさんで、審議事項も大事なところがございまして、どうぞよろしくお願いいたします。

3 委員紹介

事務局：続きまして、次第3の委員紹介ですが、時間の関係上、資料1ページ、子ども・子育て会議委員名簿の記載に代えさせていただきますので、よろしくお願い致します。また、事務局員につきましても、併せて記載しておりますので、ご確認ください。なお、只今、委嘱状を交付致しました新任の委員につきましては、ここで一言、ご挨拶を頂きたいと存じますので、よろしくお願い致します。

(各委員挨拶)

事務局：続きまして、次第4の議事に入らせていただく前に、多賀城市子ども・子育て会議の委員は13名で、本日の出席は10名でございます。多賀城市子ども・子育て会議条例第4条第2項の規程に基づき、過半数以上の委員が出席しておりますので、本日の会議が成立している事をご報告いたします。また、会議録の公開についてですが、平成25年第1回子ども・子育て会議において、議事概要及び委員名簿などをホームページで公開することにご承認頂いておりますので、併せてご報告いたします。その際、会長以外の発言者については、「委員」というかたちで掲載いたしますので、よろしくお願い致します。

4 議事

(1) 審議事項

事務局：それでは、議事に入らせていただきますが、ここからは、多賀城市子ども・子育て会議条例第4条第1項の規程に基づき、増子会長が議長となりますので、よろしくお願い致します。

会長：それでは、暫時、議長の職を務めさせていただきます増子でございます。速やかな議事の進行となりますよう、委員皆様のご協力をお願い致します。では、早速議事に移りたいと思います。本日、この子ども・子育て会議の議事案件は、次第に記載されておりますとおり、審議事項2件、報告事項4件でございます。はじめに(1)審議事項のア「第2期多賀城市次世代育成支援行動計画について」を事務局からお願いします。

資料に基づき、事務局が説明

会長：ありがとうございました。ただいま「第2期多賀城市次世代育成支援行動計画について」の説明が事務局からありました。説明の中で、次世代育成支援行動計画を多賀城市総合計画等に合わせて、1年延伸することが提案されましたが、このことについて何かご質問はございませんか。

(会場：意見なし)

質問がないようですので、原案を承認することにご異議ございませんか。

(会場：異議なしの声あり)

異議なしの声がございましたので、原案を承認する事にいたします。

会長：それでは次に、審議事項のイ「特定教育・保育施設の利用定員について」事務局からお願いします。

資料に基づき、事務局が説明

会長：ありがとうございました。ただいま「特定教育・保育施設の利用定員について」の説明が事務局からありましたが、何かご質問はございませんか。

(会場：意見なし)

特に質問がないようですので、原案を承認することにご異議ございませんか。

(会場：異議なしの声あり)

異議なしの声がございましたので、原案を承認する事にいたします。

以上で本日の審議事項の全てを終了いたします。

(2)報告事項

会 長：それでは次に(2)の報告事項に移ります。報告事項でございますので、アの「たがじょうすくっぴープラン2(第2期多賀城次世代育成支援行動計画及び多賀城市子ども・子育て支援計画)平成29年度実施状況について」からエの「各課の取組み状況について」、これは事務局から一括で報告願います。

資料に基づき事務局が報告

会 長：それでは、報告事項は一括で報告していただきました。皆様からご意見等がございますでしょうか。

委 員：新しい認可保育所、山王保育園は4月1日開園、定員60人ということですが、これは4月1日開所に間に合いますか。

事務局：工事については、間に合うように進めています。

委 員：大丈夫かなと見ていましたが、4月1日開所ということは、遅くとも3月前半には仕上がってないと、色々な検査もあるため、なかなか厳しいと思います。次の質問もいいですか。

会 長：はい。

委 員：保幼小連携ということで、保育課中心に市役所さんが一生懸命やられていますが、単純な質問ですけれども、保育所・保育園に対しても、アプローチカリキュラムを作成しているのかということと、また、小学校に対してのスタートカリキュラムを作成してあるのかどうか、それと小学校と中学校の接続に対してのスタートカリキュラムがあるのかお聞きします。

事務局：スタートカリキュラムの重みは認識しています。そしてその整備については、前向きに進めさせていただきたいと考えております。今のところは、各学校で進めているところです。

委 員：アプローチカリキュラムはどうですか。

事務局：アプローチカリキュラムについても、同様に有効性を認識しておりますので、各学校で進めるということで話をしています。

委員：塩竈市ではアプローチカリキュラムを作って、スタートカリキュラムも小学校の方でと進んでおり、それを見てみると、良いことが書いてあると思いました。同じように多賀城市でも考えているということですね。

事務局：はい。

委員：次の質問もいいですか。

会長：大丈夫です。

委員：いじめ問題対策会議に関してですが、重大案件は今年度発生していますか。

事務局：今のところ発生しておりません。

委員：いろいろな話が他市町村であるものですから、十二分に対処してほしいと思います。

それと、保育課にお聞きしたいのですが、小規模保育所がいくつかありますが、A型からC型のどれになりますか。

事務局：多賀城市の小規模保育所については、A型のみです。

委員：それに関連して待機児童解消についてですが、既存の保育所でも数が足りない状況ですが、それに絡んで懸念されるのが保育の質の担保ということです。宮城県保育協議会に加入している施設は頻繁に研修を受けているが、加入していないため研修を受けられない施設が増えています。何故かと言うと、保育士が足りなくて研修に出せないというもので、相反することが起きています。

それと、来年の10月に幼児教育の無償化ということですが、特に0・1・2歳を中心に重要なことだと思います。国の方針もまだ決まっていないので、多賀城市でも方針を決められないと思いますが、不公平感が出ないようにしていただきたいです。これは意見ということで述べさせていただきました。

会長：ありがとうございました。各課から取組み状況等ということで、色々なことを報告していただきました。それでは、以上で（2）の報告事項を終了いたします。ご協力ありがとうございました。以上をもちまして、議長の職を終了させていただきますので、あとは事務局にお返しします。

事務局：増子会長、議事の進行ありがとうございました。また、委員の皆様におかれましても、多数の貴重なご意見を賜り、誠にありがとうございました。

5 その他

事務局：それでは、次第の5その他に移らせていただきますが、委員の皆様、何かございますでしょうか。

(会場：意見なし)

6 閉会挨拶

事務局：ないようですので、閉会に移らせていただきます。閉会にあたりまして、副会長である磯部委員より、一言、ご挨拶をお願い致します。

副会長：それでは委員の皆様方、本日は長時間に渡り、審議いただきましてありがとうございました。膨大な量の資料にも目を通していただきましたが、もしかしたら、たくさんご意見がございましたように、まだ十分にお目通しいただけない部分があったかもしれませんので、是非、宿題になってしまいますが、お持ち帰りいただきまして、何かお気づきの点がございましたら、事務局の方にご連絡頂戴できればというふうに思います。私達のこの会の宿題は、次期事業計画等を策定していくところを整理していくところがございますので、皆でこのことを検討して参りたいというふうに思っております。先程から、少し話題に出ておりましたけれども、国は来年の10月から教育・保育の無償化をしていくと言っております。言っておりますが、まだ詳細が何も決まっていない状態です。10月からスタートするのに何も決まっていなくて本当に大丈夫なんだろうかというふうに思いますし、いくつかの情報によれば、国は来年度10月からスタートした場合に、その年は国で面倒を見るけれど、翌年については、市町村に半分は持ってもらうというようなことも言っております。そうすると、多賀城市が引き受けなければならないものが出てくるわけで、その辺のところも市としては非常に大きな課題になっていくわけです。私たちとしては、国の方向性を見ながら、多賀城市としてはどんなふうに、多賀城市の子ども達を支援していくのか、というようなことを、目を開きながら見て参りたいというふうに思いますので、是非、委員の皆様方からは、常々御意見を頂戴したいというふうに思います。先程お話がございましたけれども、中々困難な課題を抱えていらっしゃる家庭及び子ども達をどう支えていくかというのが、今、大きな問題でもあります。子どもの生活に関する調査をしていただくことになっておりますが、先程御紹介いただきました調査結果の仮説というのは、おそらくこのとおりであろうと私も思います。しかし、本当に課題を抱えていらっしゃる家庭の親御さんが、このアンケートに本当に適切に

答えてくださるだろうか、という、これが中々難しいと思います。おそらく、すんなり答えてくださる家庭は、実はそれほど問題ではなく、問題は、これに回答しない、あるいは適当に答えてしまう家庭こそ、問題なのではないかと思えますので、アンケート結果はアンケート結果として、数量的に私達は見ていきますけれども、そこに浮かび上がってこない問題をどうしていくのかということ、我々の知恵を結集しながら検討していけたらいいなど。その意味で、本日、平成29年度の実施状況を報告いただきましたけれども、数字としては87%くらいが概ね達成で、13%につきましては、課題があるということで、ご説明いただきましたけれども、この数字についても、もう一度見直して、多賀城市の子ども達をどういうふうに支えていくのかということ、大人の責任として考えて参りたいと思いますので、どうぞ今後ともご協力いただければと思います。今日は長時間に渡りまして、ご審議いただきましてありがとうございました。

事務局：以上をもちまして、平成30年度第1回多賀城市子ども・子育て会議を終了いたします。なお、次回の開催日につきましては、先ほどの次世代育成支援計画の今後のスケジュールで説明しましたが、平成31年7月頃を予定しております。開催日が近づきましたら、改めて通知致しますので、よろしくお願い致します。本日は長時間ありがとうございました。